

# 紀尾井 だより

5 / 6

May, June 2019  
Vol.135





今年度の〈カルテットの饗宴2019〉では、ヨーロッパで人気を誇る「アポロン・ミューザゲート弦楽四重奏団」(6/7公演)と「ドーリック弦楽四重奏団」(10/31公演)の2つのカルテットが登場します。いずれのカルテットも、国際コンクールで優勝後、着実なキャリアを重ねて、次代を担う存在として注目を浴び続けています。今回は同シリーズの先陣を切るアポロン・ミューザゲート弦楽四重奏団をご紹介します。

# アポロン・ミューザゲート 弦楽四重奏団

6/7<sup>金</sup>  
19:00開演

カルテットの饗宴  
2019

## Apollon Musagète Quartet



「アポロン・ミューザゲート」とは「ミューズを率いるアポロ」。今年2月の紀尾井ホール室内管弦楽団の定期演奏会で披露されたストラヴィンスキー作品のタイトルである。同公演は「アポロンに寄せて」がテーマで、当曲はギリシャ神話の偉大な神アポロン(アポロはラテン名)が、芸術の女神ミューズ3体を居場所となるパルナッソス山へ導く内容のバレエ音楽。その演奏に続いて6月に登場するのが「アポロン・ミューザゲート弦楽四重奏団(以下Q)」とは、意

図的ならば巧妙で、偶然ならば絶妙だ。彼らはポーランドの俊英クアルテット。2006年に結成され、ウイーン音楽芸術大学で同ジャンルの偉大な神IIアルバン・ベルク四重奏団に学んだ。2008年には、絶対神に導かれたミューズの如く、世界最高峰のミュンヘンARD国際音楽コンクールで優勝。2012年には、スターの登竜門であるBBCニュー・ジエネレーション・アーティストにも選出されている。活動は順風満帆。これまでにアムステルダム

のコンセルトヘボウ、ベルリンのフィルハーモニー、ロンドンのウイグモアホール、ニューヨークのカーネギーホールといった殿堂で演奏し、CDも複数リリースしている。彼らの特徴はまず、音色と奏法の均一性にある。柔らかく豊潤な音色はそれ自体魅力的だし、フレージングの統一感も素晴らしい。各パートのバランスも精妙で、主旋律以外の動きが的確に浮き彫りにされる。さらには、のびやかにして引き締まった「歌」。例えばチャイコ

フスキーの弦楽四重奏曲第1番の録音では、有名な「アンダンテ・カンタービレ」が、自然な呼吸感をもってしっとりとして、しかも気品を湛えながら紡がれ、旋律に意味深く寄り添うリズムや相の手も耳を奪う。

かような特質をもつアポロン・ミューザゲートQが、シューベルトに力を注ぐのは必然。この「歌の作曲家」の音楽は、自然なフレージングや気品を求められるがゆえ、彼らに最適と言っている。今回の公演では第1番と第15番、すなわち最初と最後の弦楽四重奏曲が披露される。第1番は14〜5歳の頃、学校や家庭で演奏するために書かれた、明快かつ親密な音楽。第15番は亡くなる2年前(まだ29歳だが)に書かれた、緊密で交響的な傑作である。天才のスタートと到達点を一夜にして体感できる機会も実に貴重だ。

また彼らは、「ジュシーな」現代音楽を聴かせる。それゆえ今回の演目、ポーランドの大家ペンデレツキの弦楽四重奏曲第3番への期待も大きい。2008年作の同曲はシリアスだが前衛ではなく、新ロマン主義的な音楽。これにはむろん自国の巨匠へのシンパシーも込められる。

いま世界の最前線に立つ実力派クアルテットといえば、アルテミスQ、エベヌQ、ベルチャQ等の名が挙がる。いずれも「BBCニュー・ジエネレーション・アーティスト」の先達。確実にその座へと向かうアポロン・ミューザゲートQ、必聴!だ。



# 誰でもトライアル ようこそ邦楽

和楽器に触れる機会を増やす  
新しいシリーズが始まります。  
親子向けと大人向けの  
ワークショップで、  
豊かな音楽の世界にご招待!

7/27<sup>土</sup>  
13:00開演  
5/16<sup>発</sup>発売

第一部の楽器紹介は日本の楽器と近隣諸国の楽器を  
聴き比べてみます。今年は韓国の伽倻琴が登場。  
楽器の音色を聴いてから、いよいよ第二部のワー  
クショップで楽器を体験しましょう。先生は東京藝  
術大学音楽学部邦楽科の卒業生で結成された和楽  
器オーケストラあおいの皆さんです。



箏ではまず箏爪の付け方から。  
外れないようにしっかりと。

カヤガム  
伽倻琴は  
日本の箏と何が違うか、  
よく観察してみてね。



日本舞踊ではおじぎの仕方から、  
美しい所作を学びましょう。



薩摩琵琶は大人気!  
思った以上に大きくてずっしり。  
面白い形の撥は  
どうやって持つのかな?



和楽器といえば  
三味線は外せません。  
こんなに大きかったの?  
とびっくり。  
糸を押さえて撥を使うと  
ビーンと響きます。



第三部は体験した  
楽器が一堂に。

誰もが知っているジブリの曲も和楽器で演奏すると  
新しい魅力がいっぱい!  
自分もいつかあんな風に弾けるかな?



# 邦楽の手ほどき 学べる和楽器

おまたせしました!  
大人のための、また  
音楽を教える方のために  
明日から使える  
ワークショップです。

邦楽といえば箏や三味線と知  
識では知っている・・・でも実は  
ジャンルに合わせたいろいろな  
楽器があるのです。三線・細棹・  
柳川三味線・中棹・太棹・津軽  
三味線が一堂に会して音の違  
いが分かる!教科書に載ってい  
る曲が生演奏で聴ける上にワー  
クショップで楽器を体験でき  
てしまう滅多にない公演です。



7/28<sup>日</sup>  
13:00開演  
5/16<sup>発</sup>発売



# おすすめ公演 Pick Up

伊藤恵プロデュース

ピアノ! ピアノ!! ピアノ!!!

紀尾井ホール・新スタインウェイ  
お披露目アンサンブルコンサート

7/12 金

19:00開演  
販売中

これまで紀尾井ホールで数々の名演を響かせてきた2台のスタインウェイ・ピアノに、昨年12月新たに1台が仲間入りしました。弾き込みを経て正式稼働に向け、

お披露目コンサートを開催します。

円熟を深めて王道を歩み続ける伊藤恵のプロデュースにより、ポーランドを代表するピアニストのひとりエヴァ・ポブウォツカ、詩情に溢れる演奏で絶賛を集める北村朋幹、繊細な感性と優れた技巧で躍進する津田裕也、そして昨年ポーランドでの国際コンクールで優勝した新星デュオ・坂本姉妹の出演で彩り豊かなピアノ・アンサンブルの世界をお楽しみいただきます。

ステージは、圧巻のピアニストたち6名が3台のピアノで奏でる壮麗な「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲(ワグナー)により幕を開けます。そして、坂本姉妹の若く瑞々しいロンド(ショパン)、北村・津田がスパークするラ・ヴァルス(ラヴェル)、伊藤・ポブウォツカの名手二人が語り合うように音を紡ぐ幻想曲(シューベルト)へと続きます。

休憩をはさんで、伊藤・北村・津田が3台6手で登場し、「ヴィルトゥオーズの時代」の巨星ゴドフスキーが編曲した『「舞踏への



伊藤 恵 ©大杉隼平



エヴァ・ポブウォツカ



北村朋幹 ©TAKUMI JUN2



津田裕也 ©Christine Fiedler



坂本姉妹  
©FUKUYA Yoshinobu/auraY2

勧誘』(ウェーバー)による対位法的パラフレーズ」で、20世紀初頭の爛熟を彷彿させるめくるめく夢の世界へと誘います。伊藤・津田の2台4手でブラームスの編曲によるピアノ四重奏曲(シューマン)、ポブウォツカ・北村の2台4手でプーランクのオリジナル作品2曲と続き、最後は北村編曲によるボレロ(ラヴェル)を全員で演奏、華々しく掉尾を飾ります。

3台のピアノの響きを聴き比べできるまたとないチャンスでもあります。お聴き逃しなく。

紀尾井ホール室内管弦楽団  
第117回定期演奏会

6/21 金 | 6/22 土

19:00開演 | 14:00開演  
販売中

第117回定期は、鈴木雅明が紀尾井ホール室内管弦楽団の指揮台に初登場します。バッハのスペシャリストとして有名ですが、近現代作品にも精通している鈴木氏が選んだのは、古典派と近代に書かれた3つの作品です。18世紀のモーツァルトと20世紀のバルトーク、そして18世紀作品の素材を用い20世紀の衣を着せたストラヴィンスキーという凝ったプログラムは、知性派として知られる鈴木氏ならではの、音楽的にもたおやかさや迫力、愉しさなどメリハリに富んでいるので、ご満足いただけること請け合いです。それぞれの楽器のソリストティックな扱いも多く、KCOの各プレイヤーたちの妙技も光ります。



鈴木雅明 ©Marco Borggreve



松井亜希



櫻田 亮 ©Ribaltaluce



与那城 敬 ©Kei Uesugi

音楽でつづる文学 2  
平家物語 - 竹生島 -

9/5 木

14:00開演

小ホール

友の会優先発売 5/14 火  
一般発売 5/16 水



芳年画「月百姿 竹生島月 経正」  
国立国会図書館 蔵

平家の栄華と没落を描いた「平家物語」。第2回は琵琶湖の北部に浮かぶ周囲およそ2kmの小さな島、竹生島が舞台です。

平家物語の巻7の主人公は、清盛公の甥の平経正です。彼は詩歌・管弦にたけた風流人で琵琶の名手。木曾義仲討伐のために北陸へ向かうに際し、琵琶湖上の竹生島で戦勝祈願を行います。経正の素晴らしい琵琶の音に白竜も現れるという、つかの間のお話が語られます。その木曾義仲の話を下地にして、義太夫の「源平布引滝 実盛物語の段」では、実盛が琵琶湖で源氏の白旗を握りしめた女の右腕を切り落とした経緯を人間国宝 竹本駒之助が語ります。そして京舞「竹生島」ではこちらも人間国宝がそらい踏み。奥女中が竹生島参詣に出かける道中を歌ったもので、井上八千代がとても大切に思っているという一番を素踊りで。富山清琴の調べが花を添えます。



# 邦楽名曲 解体新書

私のおすすめ  
この一曲

本名題「其面影二人枕久」  
歌舞伎舞踊曲。長唄。  
安永三年（一七七四）初演。  
作詞者未詳。錦屋金蔵作曲。  
【お話】 杵屋勝四郎さん

第一回

## 長唄 二人枕久

### 曲の醍醐味は 三味線の超絶技巧

ともかくにも三味線がカッコいい曲です。歌舞伎では幕開けからしてもう、三味線と鼓とのやりとりがすごいんですよ。ロックのよう。唄方の私からしても聴き惚れてしまいます。三味線や邦楽について詳しくない方でもきつと感動するでしょう。三味線のソロの部分「タマ」と言いますが、その撥さばきは超絶技巧ともいえるべき速さ。もちろん速さだけでなく正確さも求められます。私も若いころ、三味線弾きを志していたので、どうしたら上手く弾けるだろうと懸命に練習しましたね。難しい曲です。

『二人枕久』は個人的にも思い出深い曲です。というのも、歌舞伎の舞台で初めてお声をかけていただいて唄ったのが大学生のとき、五代目中村富十郎さんと四代目中村権右衛門さんの『二人枕久』でした。素晴らしい踊りで、鳥肌が立ちました。お二人のコンビによってこの曲が有名になったと言っても過言ではないと思います。



五代目坂東玉三郎さんが出演する『二人枕久』でも二回ほど唄わせていただきました。玉三郎さんの松山太夫はこの世のものとは思えないほど美しく、幻想的です。玉三郎さんからはアドバイスをたくさんいただきました。例えば「この出だしはゆつくり」と。自分が思っているテンポと踊る方のテンポには感覚の違いがあり、自分のはちよつと速かつたんです。ご指摘いただいた点は翌日の公演までに修正しておきます。そうしないとご迷惑をかけてしまいますからね。俳優さんの視点からいただくアドバイスはとても勉強になります。

### 時代を越えて 人々を魅了する作品

【あらすじ】 大坂の豪商・枕屋久兵衛（通称・枕久）は傾城・松山太夫と深い仲となり、豪遊の限りを尽くす。親から勘当され座敷牢に閉じ込められたが、松山恋しさのあまりに発狂。牢を抜け出してさまよい歩き、松山の幻影を見る。

唄の聴かせどころは何か所かありますが、その一つが『筒井筒』と唄う部分。能の代表曲「井筒」を取り入れたもので、在原業平と紀有常の娘の恋物語を舞う場面です。ここは音程を低く朗々と唄わないと、次の明るい場面がパツと引き立ちません。また、「ふられず帰る」の部分は三味線が入らず、鼓と唄だけの「鼓唄」です。細かいこぶしや音程の聴かせどころだと思えます。

物語としては激しい内容です（笑）。豪遊し、好いた太夫に惚れ込んで。それで親に反対されて会えなくなり、幻覚を見るわけです。「物狂い」「狂乱物」は能を源流とする歌舞伎舞踊の一系統。スリリングで、現代のトレンドドラマの十話分を詰め込んだような濃い内容です。

伝統芸能だからと畏まらずに鑑賞していただきたいのですが、ちよつと予習して行く段階に面白くなりますよ。パンフレットの歌詞を見るだけでもいいと思います。

この曲は一七〇〇年代に作られた作品ですが、現代でも人気があり度々上演されています。ストーリー、舞踊、音楽それぞれが魅力的ですから、時を越えて皆さんの心にきつと感動を与えてくれると思います。

#### ◆ 杵屋勝四郎（ぎねやかつしろう） ◆

昭和34年東京都生まれ。同38年杵屋和蔵の下で稽古を開始。杵屋勝国、人間国宝東音宮田哲男に師事。同55年長唄杵勝会の名取、杵屋崇光となる。同56年東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。平成9年文化庁芸術祭音楽部門新人賞受賞。同19年六代目杵屋勝四郎襲名。平成24年度日本文化芸術財団「創造する伝統賞」受賞。平成25年度文化庁芸術祭音楽部門大賞受賞。平成28年第37回松尾芸能優秀賞受賞。同30年第69回文化庁芸術選奨文部大臣賞受賞。現在、杵勝会理事、長唄協会会員。長唄煌光会主宰。



文・イラスト/尾花知美  
(月刊『江戸楽』編集部)



# バレエ

## をめぐる3つの話

文・山崎浩太郎  
(音楽評論家)



L'Orchestre de l'Opera  
(Edgar Degas, 1870)

その洗練のひとつがバレエで、宮廷での愉しみを経て、ロマンティック・バレエ、クラシック、モダンと発展してゆきました。今回は、バレエをめぐる3つのお話です。

踊りは、音楽と切っても切れない深い関わりを持っています。

踊りは、音楽と切っても切れない深い関わりを持っています。  
その洗練のひとつがバレエで、宮廷での愉しみを経て、ロマンティック・バレエ、クラシック、モダンと発展してゆきました。今回は、バレエをめぐる3つのお話です。

### 1 バレエのはじまり

バレエというジャンルは、ルネサンス時代のイタリアに起源をもっています。貴族たちの踊るパッロというダンスを元にして、発展しました。16世紀半ばにはフランスに輸入され、フランス語式にバレ、いわゆるバレエと呼ばれるようになったのです。ときのフランス王、ルイ14世(1638〜1715)が愛好し、自らさかんに踊ったことが、バレエの普及に大きな影響を及ぼしました。ルイ14世の宮廷楽長として、

バレエ作品を多数作曲したのが、ジャン・バティスト・リュリ(1632〜1687)です。二人の関係は『王は踊る』という、2000年製作の劇映画にもなりました。

18世紀以後もバレエはパリを中心に、ヨーロッパ中に広まっていきました。パリは文化と芸術の中心で、情報の発信源でしたから、各国の都市と宮廷が競ってその真似をし、流行を採り入れていったのです。

### 2 ベートーヴェンと生命の炎

ハプスブルク家の拠点ウィーンもその例外ではなく、バレエが上演されていました。作曲家ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770〜1827)によって1801年に完成され、初演された「プロメテウスの創造物」も、そのひとつです。

「プロメテウスの創造物」は、耳の病がひどくなり、ほとんど聴こえなくなっていく状況下で作曲されました。オリジナルの台本は失われていますが、そのストーリーは、ギリシャ神話の神プロメテウスが、炎によって彫像に生命を吹き込んで人間を創造し、芸術の力でかれらに道徳心を与える、というものと考えられています。ベートーヴェンは終曲に用いたメロディをことのほかに好んでいたようで、これを主題とする「創作主題による15の変奏曲とフーガ」(いわゆるエロイカ変奏曲)や、交響曲第3番「英雄」の終楽章などに転用しています。

### 3 ストラヴィンスキーの温故知新

ロシア帝国の首都サンクトペテルブルクもまた、パリの文化を採り入れ、独自のバレエ芸術を根づかせた場所でした。この町に育ったイーゴリ・ストラヴィンスキー(1882〜1971)は、伝統を受け継ぎ、革新的な発展をさせた作曲家です。

その才能が花開いたのはパリで、同市でバレエ・リュスを主宰するセルゲイ・ディアギレフ(1872〜1929)に依頼され、1910年から13年にかけて「春の祭典」を発表、強烈なリズムと音響のパワーで、バレエ音楽に新紀元をもたらしました。

ところが、1920年に作曲した「プルチネルラ」では、一転して18世紀イタリアの音楽を素材に、イタリアの即興劇コンメディ・ア・デッラルテの世界を描いて、バレエの起源にさかのぼろうとしています。温故知新の精神が生んだ名作です。

ところが、1920年に作曲した「プルチネルラ」では、一転して18世紀イタリアの音楽を素材に、イタリアの即興劇コンメディ・ア・デッラルテの世界を描いて、バレエの起源にさかのぼろうとしています。温故知新の精神が生んだ名作です。

#### バレエをめぐる紀尾井ホール公演

6/21(金) 19:00開演  
6/22(土) 14:00開演

紀尾井ホール室内管弦楽団  
第117回定期演奏会

販売中

〔曲目〕

モーツァルト:交響曲第29番イ長調 KV201

バルトーク:弦楽器、打楽器とチェレスタのための音楽 Sz.106, BB114

ストラヴィンスキー:バレエ音楽「プルチネルラ」全曲

9/27(金) 19:00開演  
9/28(土) 14:00開演

紀尾井ホール室内管弦楽団  
第118回定期演奏会

友の会優先発売 5/29(金) / 一般発売 6/1(土)

〔曲目〕

J.S.バッハ:ヴァイオリン協奏曲第2番ホ長調 BWV1042

メンデルスゾーン:弦楽のための交響曲第10番ロ短調 MWV N 10

ベートーヴェン:バレエ音楽「プロメテウスの創造物」(全曲・語り付き) Op.43



# フォトレポート

最近の公演から

1.29

紀尾井ホール室内管弦楽団による  
アンサンブルコンサート4  
That's KCO Entertainment  
Happy☆MOKU5(木管五重奏)アワー



▲年明けにぴったりの華やかで明るいアンサンブル曲の数々、改めて管楽器の魅力が伝わったのではないのでしょうか。

2.8

2.9

紀尾井ホール室内管弦楽団  
第115回定期演奏会  
ミュツスとロゴスII アポロンに寄せて



▶ヴォーン・ウィリアムズ「トマス・タリスの主題による幻想曲」ではオーケストラのうしろに小さなオーケストラが置かれました。

アンケートより

気持ちが変わるような美しいハーモニー。フルオーケストラとはまた別の世界でした。リラックスではない緊張感が素晴らしいものでした。

2.17

紀尾井 江戸 邦楽の風景  
第19回 木場の木遣り  
～声の技～



アンケートより

総勢20名の木遣りはのどかで力強く、ふくみがあり、心地良い。

◀木遣りの生き生きとした様子が描かれています。

1.24

邦楽 華麗なる技  
第十五回 掛け合い

常磐津、長唄、義太夫が一堂に会した三方掛合の「紅葉狩」。貴重な実演の機会に会場が沸きました。



2.1

クアルテットの饗宴2018  
ベルチャ弦楽四重奏団



▶世界のトップを走り続ける彼らはさすが、としが言いようのない素晴らしい演奏を披露してくれました。

2.13

Mitsubishi Corporation Presents  
ヴァレア・サバドゥス  
& コンチェルト・ケルン



帰り際、ホール入り口の公演ポスター前にて



アンケートより

時が本当に止まってほしいと思った。柔らかくずっと聞いていたい歌声。コンチェルトケルンも息が合い素晴らしいかった。

2.22

紀尾井 明日への扉  
第23回  
三宅理恵(ソプラノ)



▶古典から現代曲まで自由自在! 情感たっぷりには聴かせてくれました。ファンからの、大きな贈り物と一緒にハイ、ポーズ。

## 紀尾井ホールにご支援いただいている企業および個人の方々です

### 紀尾井サポートシステム会員

(五十音順・「株式会社」等表記及び敬称略) 2019年4月1日現在

- 特別協賛 A.ランゲ&ゾーネ (リシュモン ジャパン) / 日鉄ソリューションズ/三菱商事
- みやび会員 伊藤忠商事/大島造船所/KDDI/菅原/住友商事/丸紅/三井住友銀行/三井物産/三井不動産/三菱商事/三菱地所/メタルワン ほか匿名2社
- ひびき会員 オカムラ/さらばし銀行/竹中工務店/山下設計
- みどり会員 青鬼運送/赤坂雄新堂/赤坂 エクセルホテル東京/今治造船/ヴォートル/エーゲーディ/NSシンフォニーオーケストラ/荏原冷熱システム/鹿島建設/サ・キャピタルホテル 東急/三協/清水建設/上智大学/スタンウェイ・ジャパン/西武プロパティーズ/高砂熱学工業/千代田商事/テイスト・ライフ/東芝エルティエエンジニアリング/永田音響設計/日活アド・エイジェンシー/日本ハム/ニュー・オータニ/ハウス食品グループ本社/パナソニック/富士ゼロックス/松尾楽器商会/三井住友信託銀行/三菱電機ビルテクノ/サービス/三菱UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/ミュージック/明治座舞台/ヤフー/ヤマハサウンドシステム/有帆
- おおい会員 青木陽介/磯部治生/井上善雄/片山能晴/近藤真子/佐久間康行/佐伯いく子/志立正嗣/清水多美子/清水康子/鈴木 亮/高下謙吉/高橋義徳/外山雄三/中島 博/中西達郎/西村剣美/馬場弘之/原田清朗/北條哲也/堀川将史/牧本恵美子/松枝 力/松本美恵/鏡輪永世/陸田 実/村上喜代次/村田正仁/持留宗一郎/八木一夫/八木晶子 ほか匿名22名 計99口

### 特別支援会員

(社名五十音順。「株式会社」等表記略)

- アステック入江/五十鈴/NSユナイテッド海運/NSユナイテッド内航海運/エヌエスリス/エヌテック/大阪製鐵/丸製工業/草野産業/黒崎播磨/合同製鐵/小松ヤリテック/山丸/産業振興/三晃金属工業/サンユウ/三洋海運/ジオスター/日鉄ケミカル&マテリアル/日鉄ソリューションズ/新日本電工/スガテック/大同特殊鋼/大和製鐵/高砂製鐵/高田工業所/鶴見製鐵/DNPエリオ/テツゲン/東海鋼材工業/東邦シートフレーム/トピー工業/日亜製鐵/日鉄SGワイヤ/日鉄環境/日鉄建機/日鉄鋼管/日鉄鋳業/日鉄鋼線/日鉄鋼板/日鉄興和不動産/日鉄テックシステム/日鉄ドラム/日鉄日新製鋼/日鉄物産/日鉄物流/日鉄物流君津/日鉄物流八幡/日鉄保険サービス/日鉄ボルト/日鉄溶接工業/日本金属/日本鋼板/日本鋼板/清田重工/富士製鋼センター/不動テトラ/特強テック/カネデン/松菱金属工業/三島光産/宮崎精鋼/吉川工業

日本製鉄

(2018年度、匿名1社除く)



## 第29回 日本製鉄音楽賞受賞者が決定しました。

第29回日本製鉄音楽賞が決定しました。将来を期待される優れた演奏家に贈られるフレッシュアーティスト賞には、2018年ミュンヘンARD国際音楽コンクールの優勝が記憶に新しい**葵トリオ**が、「コンクールでの素晴らしい実績と今後の活躍で日本を代表するピアノ・トリオに成長することを期待して」、また、クラシック音楽文化の発展に大きな貢献を果たした方に贈られる特別賞には、舞台写真家の**林喜代種**さんが「長きにわたって情熱をもって撮影してこられた『瞬間』の積み重ねは、わが国の楽壇史そのものであり、写真から感じる熱量は音楽の現場そのもの」と評価され受賞となりました。なお、受賞記念コンサートを7月3日(水)に開催します。



葵トリオ(左から伊東 裕、小川響子、秋元孝介)



林 喜代種

紀尾井友の会  
特典施設の  
ご紹介 35

### AUX BACCHANALES オーバカナル 紀尾井町



紀尾井ホールから徒歩5分ほど、赤坂見附駅に向かう途中にあるオーバカナル 紀尾井町は朝10時から夜23時(日祝は22時)まで営業し、公演の前後にたくさんのお客さまにご利用いただいています。軽食とお飲み物で軽めに、コースお料理と共にとお食事、などお時間や用途に合わせてご利用いただける使い勝手のよさも魅力です。街路樹のグリーンが気持ちよい季節、開放的なテラス席もおおすすめです。

公演前後にぜひご利用くださいませ。

#### 紀尾井友の会会員さま限定特典

6月19日までの期間限定  
店内ご飲食ご利用の会員  
さまに「焼き菓子(2個入り)」  
プレゼント!  
※写真はイメージです。  
※友の会会員証一枚につき一つとなります。

営業時間:10:00~23:00(日祝22:00)  
ランチタイム 11:30~14:00(L.O.)  
ディナータイム18:00~22:00(L.O.)  
定休日:無休  
ご予約・お問合せ:TEL.03-5276-3422

### 紀尾井ホール室内管弦楽団 2019年度 シーズン・メンバーのご紹介

当財団では若手演奏家を育成する制度として「紀尾井ホール室内管弦楽団シーズン・メンバー」を設置しています。2019年4月から1年間、ヴァイオリンの大塚百合菜、ヴィオラの石田紗樹が活動します。二人の活躍にご期待ください。



大塚百合菜  
ヴァイオリン



石田紗樹  
ヴィオラ

### 紀尾井友の会 会員募集中

当財団の主催公演チケットの優先発売やチケット料金割引、「紀尾井 明日への扉」公演などへのご招待、会員さま限定イベント開催やホール周辺レストラン等の特別割引など特典が盛りだくさん。随時会員募集中です。

年会費 3,000円(入会費不要)

#### 紀尾井ホールウェブチケット

インターネットで簡単に入会のお手続きができ、その日から特典をご利用いただけます。  
<http://www.kioi-hall.or.jp/tomonokai>

#### お電話

郵送によるご入会をご希望の場合は、友の会事務局までお問い合わせください。

資料のご請求・お問合せ

紀尾井友の会事務局 TEL.03-5276-4540(10:00~17:00/土・日・祝休)

詳しいご案内は紀尾井ホールホームページでもご覧いただけます。

### 編集部だより

●お知らせ 4月1日、当財団は日本製鉄文化財団に名称が変わりました。

●表紙から 紀尾井ホールに面しているソフィア通りは外堀の土手に沿う桜並木の通りで、お花見の季節には多くの人で賑わっています。紫陽花もたくさん植えられていて、5月から6月にかけて青や紫、ピンク色と、一雨ごとに色づいて夏の訪れを知らせます。○撮影場所 ソフィア通り

●編集後記 2019年度がスタートしました。この「紀尾井だより」は今号からホールの情報誌として、ホットな話題から、邦楽・クラシックの知識が深まる連載など、さまざまな話題を紀尾井ホールファンの皆さまにお届けしてまいります。さらに今号からは紀尾井ホールホームページでもお読みいただける「Web版 紀尾井だより」も公開予定です。ふと外を見れば、小ホールロビーから望む新国立競技場も外観が姿をあらわして、いよいよオリンピックが近づいてきたのだなぁと実感します。紀尾井ホールも2020年の開館25周年に向けて、マラソンのごとく駆け抜けていきます。〈E〉

公式SNSで  
最新情報  
配信中♪



#### Facebook

主催公演の模様やバックステージの様子など、旬の話題を配信中!  
<https://www.facebook.com/kioihall/>



#### Twitter

主催公演の最新情報を配信中!  
いち早く紀尾井ホールの情報をお届けしています。  
[https://twitter.com/kioi\\_pr](https://twitter.com/kioi_pr)



#### YouTubeチャンネル

出演者インタビューや演奏風景など随時配信中。  
ここでしか見られないアーティストの横顔が見られるかも?!  
<https://www.youtube.com/user/KioiHall>



#### 紀尾井ホール室内管弦楽団 Facebook

楽団の活動情報をいち早くお届け。  
リハーサルの様子やオフショットなども公開しています。  
<https://www.facebook.com/KCO.Tokyo/>

